

## 『〇〇の秋』

京都市内の紅葉が進み、観光地は国内や外国からの多くの方でにぎわっています。図書館に近い烏丸五条のバス停には、清水寺方面に向かわれるのでしょうか、カメラを掲げて大きな荷物を持った外国の観光客の方が大勢バスを待っておられました。図書館隣接の修徳公園の木々も様々な色合いで深まりゆく秋を表現してくれており、落ち葉を踏みしめて遊ぶ子供たちの声が図書館にも届けられています。

下京図書館では、11月に「〇〇の秋」と題して、図書の展示と貸出を行っています。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、そして読書の秋。休日や乗り物の車中、また、秋の夜長を読書で過ごされる方のお役に立てればと考えています。

11月に入り、2校の中学校の生徒が、「生き方探究・チャレンジ体験」事業で、順次下京図書館で職業体験をしてくれました。もともと図書館業務や読書に興味を持った生徒が図書館を希望してくれており、そのこともあって実によく動いてくれます。朝の返却本の処理、予約が入っている本のピックアップ、また、午前・午後の2回、下京図書館に送られてくる予約された資料(本)や返却された本の仕分け、書架への返却など、様々な作業を積極的にこなしてくれました。利用者の方へお届けするカウンター後ろの棚の予約資料は、生徒の手を通して組み込まれたものかもしれませんね。生徒が図書館業務の舞台裏を経験することで、物事が見えないところで準備されていて、それがいろいろな人の手に支えられているということを知り、「働くことの厳しさと喜び」を実感することにつながるように思います。中学生にとって、「自己の在り方と生き方を考える秋」になることを願っています。

11月15日 館長 川浪重治